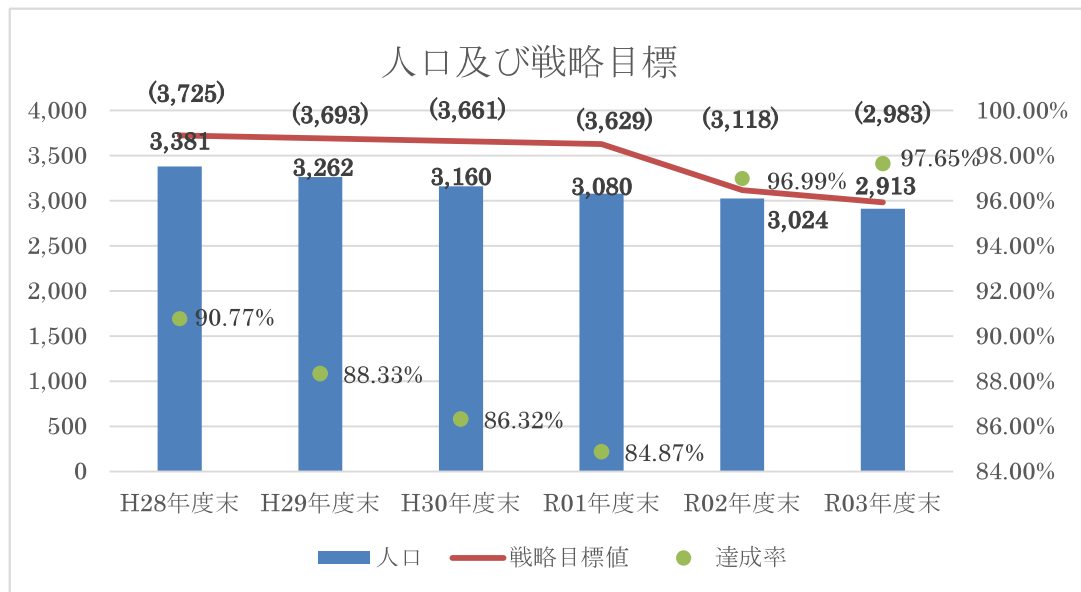
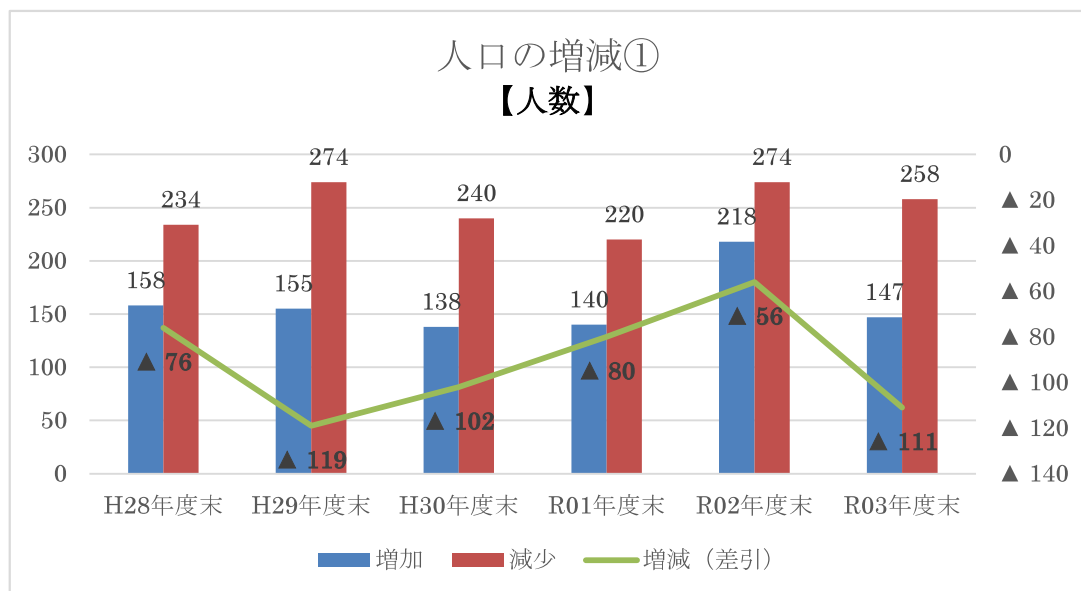


本町の人口の推移について



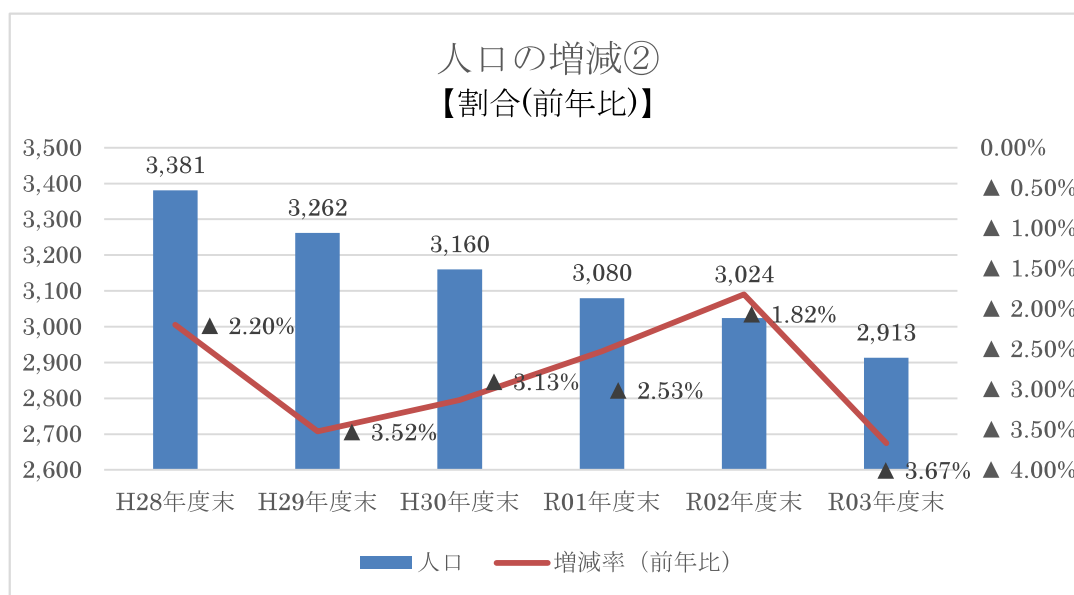
【出典：住民基本台帳】

- 令和2年度を始期とした第2期戦略の策定と合わせて人口ビジョンも改定し、新たな戦略目標値としたが、達成率は約98%と計画値を下回る状況となっている。
- 令和3年度末人口は、刑務所被収容者を除く人口は2,864人となり、実質の達成率は96.0%である。依然として人口減少に歯止めのかからない状況となっている。



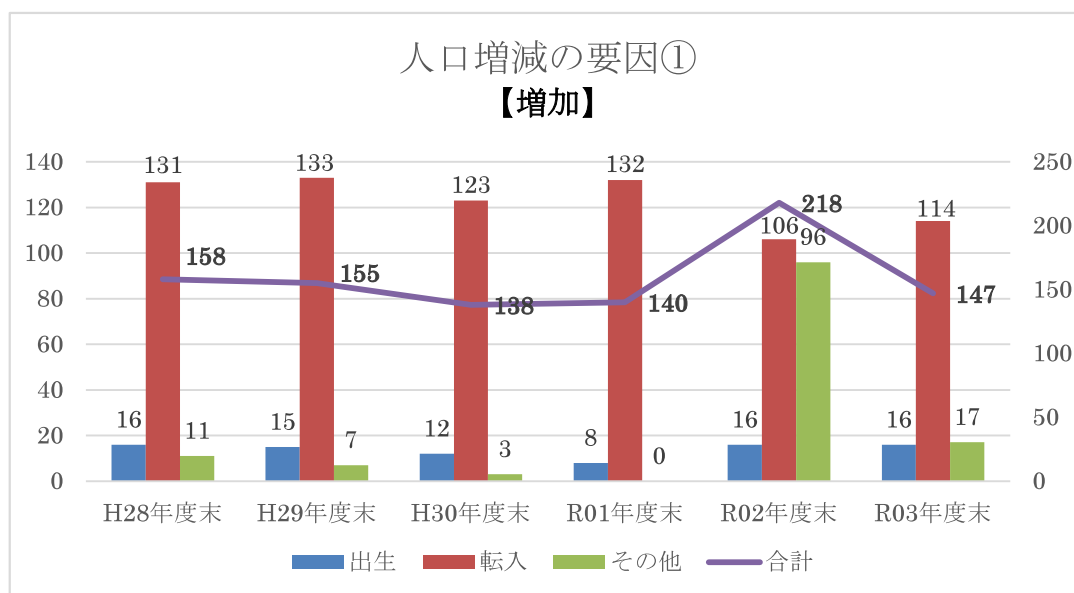
【出典：住民基本台帳】

- 出生と転入等を合わせた増加を死亡と転出を合わせた減少が恒常的に上回っている。
- 「増加」147人には、前述のとおり刑務所被収容者が含まれており、刑務所被収容者を除く実質の「増加」は131人となり、「増加」の減少傾向は続いている。同様に刑務所被収容者を除く実質の「減少」は221人となり、「減少」は横ばいとなっている。



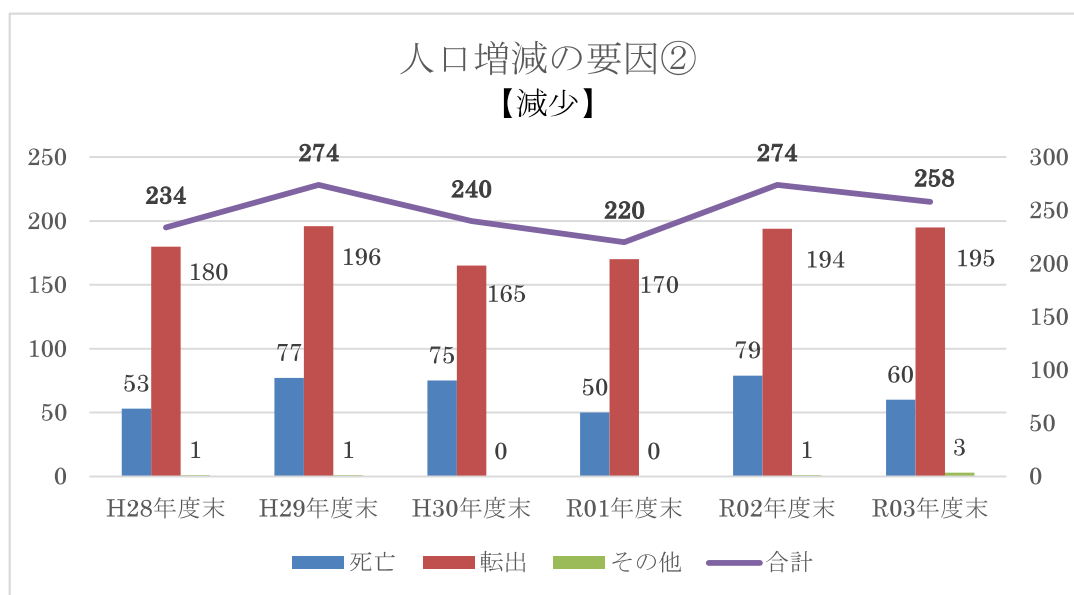
【出典：住民基本台帳】

- ・ 刑務所被収容者を除く人口は 2,864 人 で、実質の「増減率 (前年比)」は▲2.95% となり、過去5か年平均の増減率 (2.81%) と比較して、例年よりもやや減少率が上昇している状況となっている。



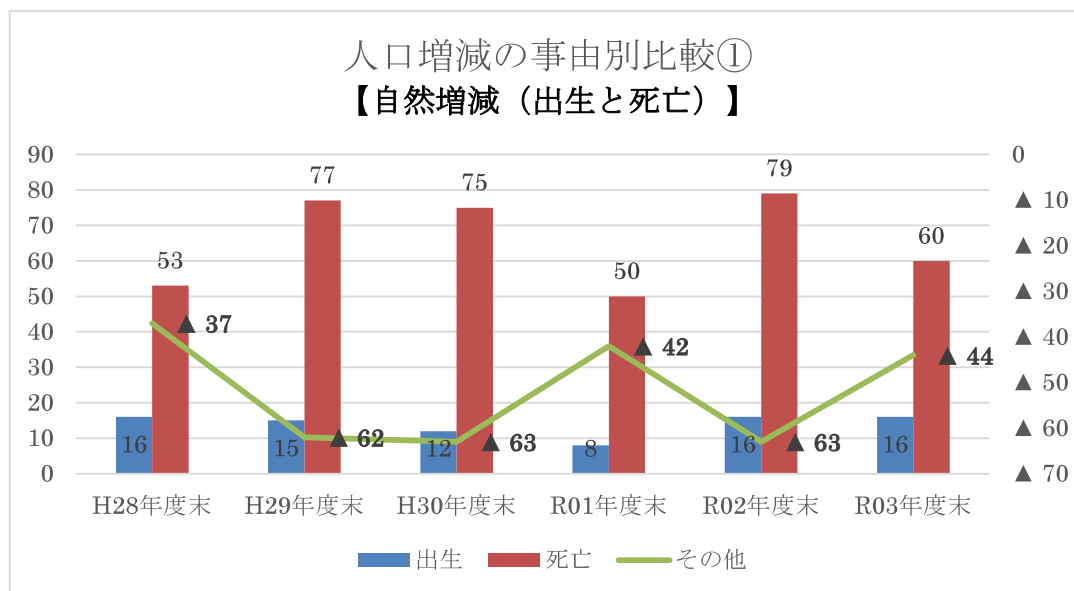
【出典：住民基本台帳】

- ・ 「その他」は、刑務所被収容者の住民登録による増加となっている。
- ・ 「出生」は近年では比較的多い状況にある。
- ・ 転入は 114 人と昨年度よりもわずかに上昇しているが、昨年度と比較して福祉施設への入所による転入が増えたことによるものとなっている。しかしながら、生産年齢人口 (25-49 歳) の転入は昨年度と比較して 19 人 (約 27.1%) 減少している。



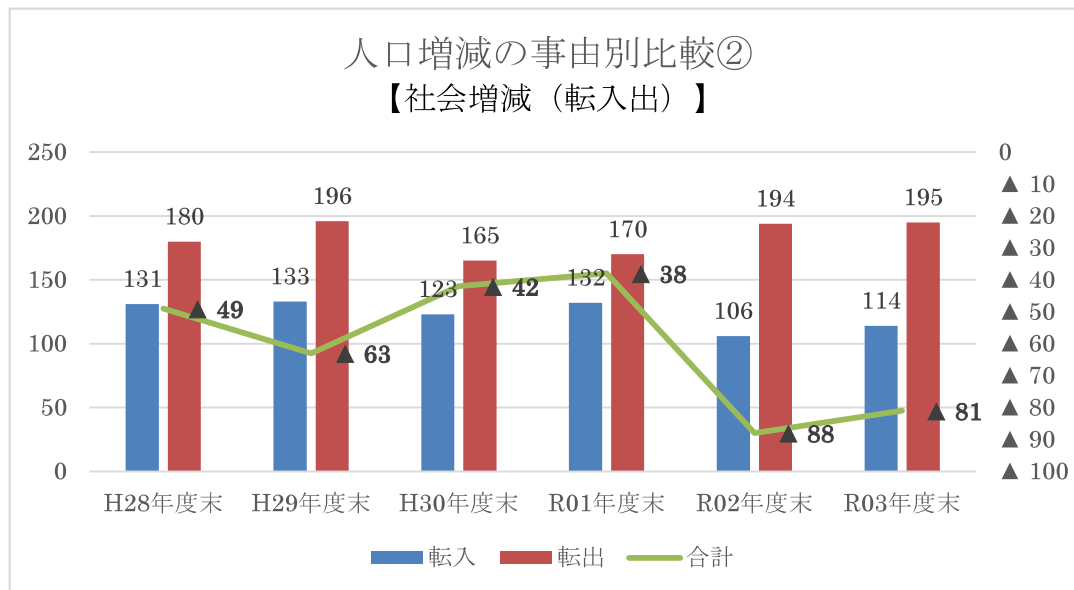
【出典：住民基本台帳】

- ・ 刑務所被収容者を除く転出は 158人 と、横ばいの傾向が継続しており、自然減も比較的高い位置で推移している。人口規模が縮小している中であって、減少率は増加している。



【出典：住民基本台帳】

- ・ 人口減少に伴う出生数の減少と高齢化率の上昇に伴う死亡数の増加により、自然増減による減少傾向は続いている。



【出典：住民基本台帳】

- ・ 転入と刑務所被収容者を除く転出 158 人の「合計」は△44 人で社会減は継続している。人口規模が縮小している中であって、減少率は増加している。

【総括】

- ・ 全体の傾向としては、自然減及び転出は横ばいのまま高止まりしており、転入数は令和 2 年度と比較して微増となったが生産年齢人口（25～49 歳）の人口における転入は減少している。社会情勢、コロナ禍における事業縮小などの雇用情勢など原因把握が引き続き必要と考えられる。
- ・ 転入転出における年齢人口分布の変化にも注視が必要と考える。